

プランクトン情報 —— フォルミディウムの出現ピークは年2回に定着

霞ヶ浦でフォルミディウムが頻繁に出現するようになったのは昭和63年からで、以降年々その発生量は増える傾向にあります(図-1)。また、年間における発生ピークは春(4月~5月)に1ml当り2万コ程度の大きな山と、夏から秋(8月~11月、最近では10月)の1ml当り1万コ弱の年2回というパターンが定着化してきており(図-2)、平成7年も4月と10月に同様の発生ピークを示しました。

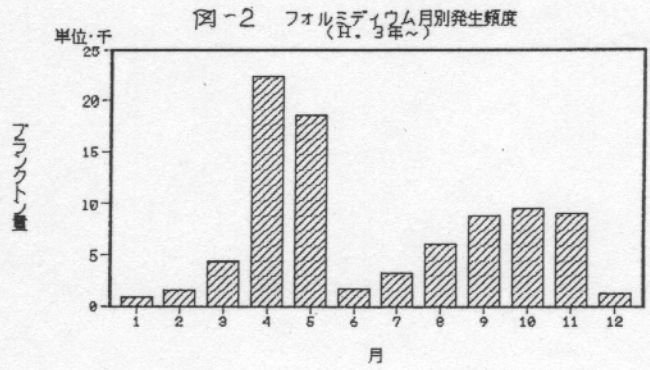
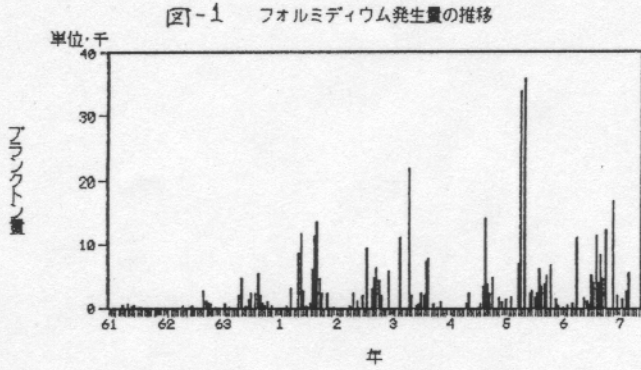


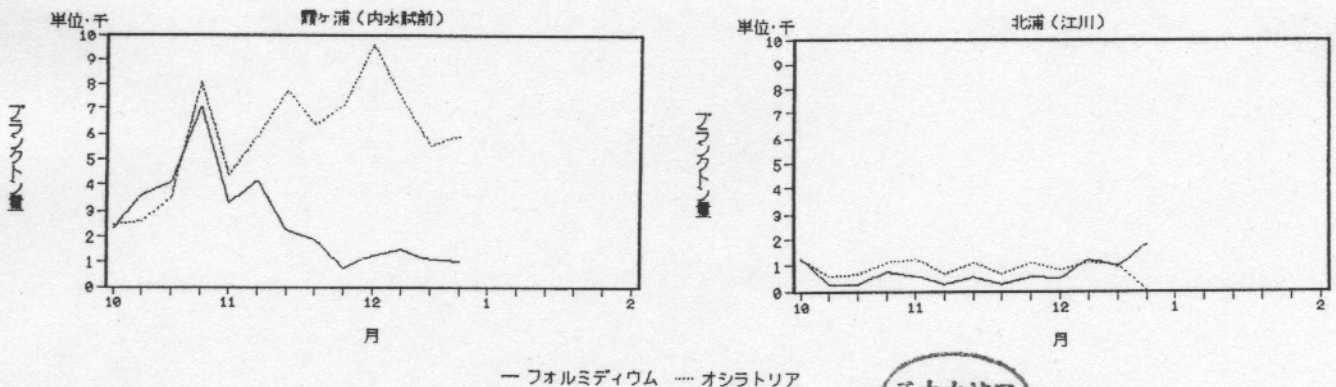
表-1 に霞ヶ浦北浦各地点における12月25日現在の主要プランクトン発生状況を、図-3 に今年10月以降のフォルミディウム、オシラトリア発生量の推移を示しました。これによると、霞ヶ浦ではフォルミディウムは10月下旬にピークを迎え、その後落ちてきてきましたが、これに変わってオシラトリアが12月初旬にピークとなりました。

一方、北浦においてはこれまでのところフォルミディウム、オシラトリアとも大量発生していませんが12月下旬あたりから、やや増殖しそうな気配がみられます。

表-1 霞ヶ浦北浦における現在の主要プランクトン(コ/ml) (平成7年12月25日現在)

| プランクトン 地 点 | 藍 藻 類 | | 珪 藻 類 | | | 原生動物 |
|---------------|----------|--------|-------|-------|------|-------|
| | フォルミディウム | オシラトリア | シネトラ | シクロテラ | メロシラ | |
| 牛 渡 | 2297 | 4810 | 3207 | 9620 | 1256 | 8536 |
| 手 賀 | 4680 * | 6240 | 6067 | 9490 | 1733 | 8146 |
| 内水試前 | 1000 | 5940 | 1930 | 27350 | 2330 | 5870 |
| 江 川 | 1820 | 43 | 1878 | 4507 | 303 | 13217 |

図-3 今年10月から現在までのオシラトリア、フォルミディウムの発生状況



— フォルミディウム オシラトリア

